

2022年8月17日

埼玉医科大学病院

埼玉医科大学の独自技術「外リンパ瘻診断法」の使用検査薬が保険適用

～世界初、中耳洗浄液中の特異蛋白 Cochlin-tomoprotein (CTP) を測定～

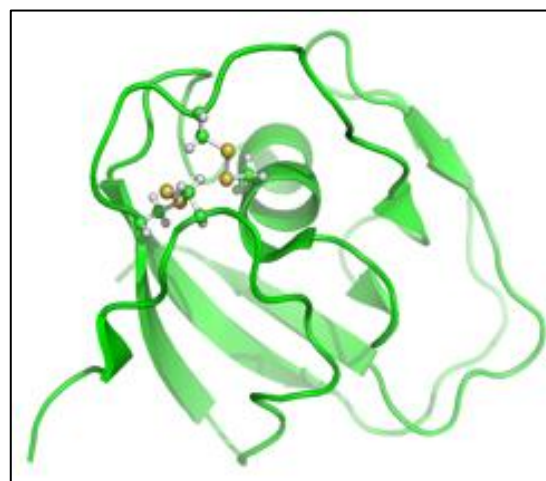
■ 概要 ■

- ・はなかみやダイビングなど軽微な圧外傷で発症する外リンパ瘻は、内耳性の難聴・めまいの原因疾患です。
- ・世界初の外リンパ瘻確定診断法、CTP 検査が保険収載されました。
- ・外リンパ瘻は比較的軽微な手術で根治が可能です。



埼玉医科大学が特許を保有する「Cochlin-tomoprotein (CTP) の検出による外リンパ瘻診断法」が2022年7月1日に保険適用となりましたことをお知らせいたします。

本製品は、中耳洗浄液中の CTP を測定し、外リンパ瘻の診断の生化学的確定診断法として使用することを目的としております。本製品で測定できる CTP は、外リンパに特異的な蛋白で、外リンパ瘻に対する検査の感度、特異度が高いと言われております。CTP の検出による外リンパ瘻の診断法は、当院耳鼻咽喉科の池園哲郎教授が内耳プロテオーム解析の結果から発見した蛋白を用いた診断技術です。埼玉医科大



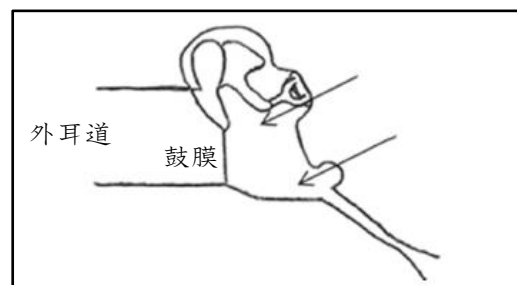
CTP の立体構造

学が特許を所有する技術であり、内耳性難聴・めまいの原因診断法としては世界初の生化学的診断法です。従来は、耳の後ろ側から切開し外リンパが漏れているかどうかを肉眼で判断する検査が必要でしたが、それと比較して、侵襲性が極め

て低くなっています。従来法はその判定に不確実な部分があり、このため疾患概念そのものに各国で異論があり、世界的に議論が尽きない疾患でした。CTP の検出による外リンパ瘻の診断法は、この点を解決しました。

【外リンパ瘻とは？】

飛行機搭乗、ダイビング、強く鼻をかんだとき、重量物を持ち上げたときなど、からだの外からもしくは内部から耳に強い圧力がかかる外傷で発症します。中耳と内耳を仕切る膜（内耳窓）が破れて、内耳の中の外リンパが漏れだす病気です。



↑矢印部分が内耳窓

自覚症状としては、めまい、難聴、水が流れるような耳鳴りなどがあります。交通事故から数年経過してから発症することもあるようです。外リンパ瘻は、安静を保ち、耳の中の圧力が変化しないようにすることで、1～2 週間で自然に治ることがあります。それ以上経っても難聴が進行する場合、慢性のめまいが治まらなかったりする場合には耳の穴の内側を少しだけ切開して、内耳窓の損傷部分を修復する手術で瘻孔の根治が可能です。

【製品概要】

- ・製品名：CTP ELISA「コスミック」
- ・使用目的：中耳洗浄液中の Cochlin-tomoprotein (CTP) の測定（外リンパ瘻の診断の補助）
- ・主な測定対象：外リンパ瘻を疑う患者
- ・保険点数：460 点（2022 年 7 月現在）

製造販売元

株式会社コスミックコーポレーション 営業部
〒112-0002 東京都文京区小石川 2-7-3 富坂ビル
URL ; <https://www.cosmic-jpn.co.jp/>
E-mail ; cc@cosmic-jpn.co.jp

【お問い合わせ先】

埼玉医科大学 広報室 担当：蒔田喜彦（まいたよしひこ）
mail : koho@saitama-med.ac.jp